

震災講話

～東日本大震災、震災遺構を訪ねて、そして阪神・淡路大震災30年を迎えて～

各クラス、プリントが配られ、写真がスクリーンに投影されましたでしょうか？それでは「東日本大震災、震災遺構を訪ねて、そして阪神・淡路大震災30年を迎えて」をテーマに講話を行います。

去年の秋、私は岩手県を訪れる機会がありました。行く前から東日本大震災後の様子をこの目で見たいと願っており、時間的に全てを見られないので、目的地を釜石市に決めました。釜石市に決めた理由は、津波が発生した場合、その逆三角形の地形から最も被害が大きくなることが予想されたにも関わらず、くどいほど行われた防災教育の成果が発揮されて、幼稚園児から中学生までの多くの命が助かった釜石市鶴住居地区を見たかったことと、実際に子どもたちが辿った避難経路を歩いてみたかったことにあります。

大久保中だより20号を見てください。釜石の奇跡、今は釜石の出来事と言いますが、それを演出した釜石東中学校は海拔わずか2mの所にありました。本当にすぐ近くが海で、今なら「なぜこんなところに学校が」と思ってしまいます。現在ここにあった釜石東中学校と鶴住居小学校は5番の海拔30mほどの高台に移転し、跡地にはラグビー場ができています。

プリント1号、右側を見てください。当時の中学生の談話が記録された記念館から書き写したものです。14:45地震が襲い、てんでばらばらに2番のございしょの里という所に避難しています。私もそこまで走りましたが、海拔わずか4m、道もほぼ平坦で、「えっ、こんな所が避難場所になるの？」と思いました。（プリント朗読）それもあって3番の「山崎デイサービス」という所にすぐ再避難しています。ここは標高15mで坂もまあまあ角度がありました。「ここまで来れば安心」と思った時、津波が街を呑み込んでいったのです。（プリント朗読）その勢いを見て、多くの先生がここも安心ではないと悟り、再々避難を呼びかけ、最終避難場所の恋の峠に辿り着き、やっと完全避難ができたのです。海拔44m。ここまではかなりの急坂で、再避難場所から約500m、上り坂の連続です。現在持久走を体育でも行っていると思いますが、平地ですれぐらしい距離を走る練習はしておいた方がいいかも知れません。東中の生徒は上り坂を1.6キロ、小学生の手を引き、幼稚園児を抱いて走っています。

次に裏面の21号、そちらの右側は先生方の談話です。いきなり停電で、学校の放送設備が使えなくなったこと。最初生徒は運動場に並ぼうとしたこと。全て若い先生が走り回って避難隊長の教頭先生の指示を伝えたことがわかります。（プリント朗読）この教頭先生は女性の先生で、校長先生が当初不在だったこともあり、指示を出す立場にありましたが、「何度も繰り返し行った防災学習が役にたった。」と言われています。しかしそんな先生でも（プリント朗読）と思ったようです。

前の写真を見てください。見にくいでしょうが、山崎デイサービスから津波

に呑み込まれていく街を撮った写真です。湖のようになっているのが津波に呑み込まれた街で、左下の生徒たちはもう次の避難先に向かって走り出している様子がわかります。

このようなことがあってこの地区の子どもたちの多くの命が助かったのです。やっぱりその地を訪れ、自分の目で見て、肌で感じたことは正解だったという思いです。この地を訪れたことは私の防災意識を高め、他の地域も見て回りたいという思いを強くしました。HPに何枚かの写真をアップしておきますので、また見てください。

そして今日は阪神淡路大震災から30年という日になりました。朝から三ノ宮東遊園地の慰霊式の様子も見てきました。そして追悼式には天皇・皇后両陛下も出席されます。明石は阪神・淡路地区に比べると被害はましな方でしたが、それでもすごくすごく恐ろしい体験でした。明石でもそうなのに、もっと被害が多かった阪神淡路地区はさらに恐ろしかったであろうことを考えるとぞっとします。阪神淡路大震災は忘れられない出来事から、忘れてはいけない出来事へとシフトしているように思います。どうか体験していない皆さんも震災のことを学んで、語り継ぐ一員になってください。そしてここ30年の間に80%の確率で起こると言われている南海トラフ大地震にも備えておく必要があります。いつ、どこで、何をしているときに地震が起こっても、それなりに対応できなければならないのです。さらに釜石東中の生徒がそうであったように、中学生は自分の命を守った後には、人を助ける立場にならなければなりません。どうか皆さん、防災についての意識を高め、命を守る努力を精一杯できる人になってください。私の強い願いです。

それでは阪神淡路大震災と東日本大震災、能登半島地震など、災害で亡くなった方々の御霊に黙祷を捧げます。全員起立。気をつけ。黙祷。黙祷なおい。座りなさい。これで先生からの講話を終わります。この後は各教室で学習してください。

以上です。

2025, 1. 17 金